歴食瓦版
REKI SHOKU KAWARABAN
第2号
令和2（2020）年12月

発行
歴食JAPAN
プロジェクト事務局
山口県山口市中市町1-10
（山口商工会議所内）
電話 083-925-2300

祝 益田市 日本遺産登録

中世日本の傑作 益田を味わう
ー地方の時代に輝き再びー

「中世日本の傑作 益田を味わう ー地方の時代に輝き再びー」が、令和2年度日本遺産に認定されました。

海に国境のない時代ー中世。山陰地方の西端のまち益田は、その地理と地域資源を活かして、大きな輝きを放っていました。

人々は、中国や朝鮮半島に近い地理と、中国山地がもたらす材木や鉱物などの地域資源を活かして、日本海交易を進めました。領主益田氏は、自らも交易に積極的に関与し、優れた政治手腕を発揮して平和を実現しました。経済的繁栄と政治的安定のもと、東アジアの影響も受け、どこにもない文化が花開きました。

現在の益田にはその歴史を物語る、湊、城、館の遺跡と景観、寺院や神社、町並み、庭園、絵画、仏像などの一級品がまとまって残っています。

このように、時代と地域の特性を活かして輝いた益田は、中世日本の傑作と言え、全国でも希有な中世日本を味わうことのできるまちです。

雪舟庭としても有名な萬福寺。中世の食体験もできる。

歴食伝

歴食をテイクアウト！

毛利元就を饗応した豪華なお料理が蘇る

戦国益田氏弁当

永禄11（1568）年、益田の領主、益田藤兼・元祥父子が毛利元就の本拠地である安芸吉田郡山城を訪れ、莫大な贈り物をすると同時に豪華な料理を振る舞ったことが、益田家に伝わる古文書「益田家文書」に記されています。これによって益田氏は、その実力を毛利氏に鮮明に印象づけたのです。

この古文書に残る祝い膳をアレンジし、弁当スタイルにまとめたものが「戦国益田氏弁当」です。古文書に記述のある鴨やイカ、数の子等の食材を中心に、当時の調味料「煎り酒」で味付けされた料理を楽しむことができます。

季節ごとに弁当の食材は変更になり、その季節に応じた旬の歴食を味わうことができるのも魅力です。

ウィズコロナの時代、テイクアウト可能な歴食として利用者の方々に喜んでいただいております。

お問い合わせ
ステーキ グランセゾン
電話 0856-22-8239
住所 益田市乙吉町イ96-5

益田の「煎り酒」丸新醤油醸造元（益田市）により商品化されており、萩・石見空港やインターネットで購入可能！

新・認定

歴食「フィリョース」

宗麟かぼちゃを種から育てて復元！

〈山口市・イタリア食堂ベケ!?〉

イタリア食堂ベケ!?は、山口市の歴食「大内御膳」が饗された大内氏館（現龍福寺）の北側に佇むお店です。今回、山口歴食同好会メンバーが調査した「フィリョース」の作り方に学び、種から育てた宗麟かぼちゃで、ポルトガルのクリスマス伝統菓子「フィリョース」を復元されました。

フィリョースは、現在の日本ではヒリョウズ（飛龍子）＝がんもどきと呼ばれるおかずで、豆腐を潰して野菜をまぜた揚げ物のような食材です。

江戸時代初期の料理書を見ると今のおかず系のものとは違って、小麦粉を練って油で揚げて砂糖をまぶす、本来のお菓子のレシピが載っています。

日本に最初に伝わったのは、おそらくキリスト教が伝わった戦国時代で、ポルトガルでは今でもクリスマスのお菓子としてフィリョースを食べる地方があるそうです。生地にオレンジやカボチャを混ぜたりするそうで、戦国時代のキリシタン大名大友宗麟に献上されたという伝承もあります。

ちなみに、「宗麟かぼちゃ」は、現在、大分市の南蛮ＢＶＮＧＯ交流館で種や苗が配布されているそうです。その種から育てて生まれた「フィリョース」を、イタリア食堂ベケ!?クリスマスランチ&ディナーで味わってみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ
イタリア食堂ベケ!?
電話　０８３-９９６-５２３０
住所　山口県山口市野田２

歴食ハンター

足利の古代瓦せんべいでおいしく考古学?!

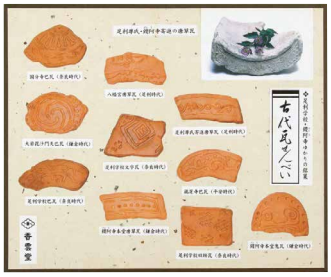
第22回金沢全国菓子大博覧会名誉総裁賞受賞

（製造元）香雲堂：栃木県足利市通3丁目2617
TEL0284-21-4669
URL: http://www.koundou.jp/

日本三大毘沙門天のひとつ大岩毘沙門天の鎌倉時代の瓦、平将門ゆかりの小俣鶏足寺五大堂の平安時代の瓦…などを忠実に型どった、古代瓦せんべいを販売しています。

香雲堂は明治元年の創業から、伝統を大切にしているお店。せんべいは奈良時代から鎌倉時代までの瓦をかたどったもの全10種類で、同封された解説書と照らし合わせながら「これはどの瓦かな？」と食べるのも楽しい逸品です。

〝歴史の町〟足利は、日本最古の学校遺跡として有名な足利学校が有名で、多くの遺跡や遺物が残っているまち。足利の香雲堂では、地元の考古学者・丸山瓦全先生（故）からご指導いただき、明治初期に足利で発掘された、足利尊氏公が鑁阿寺（ばんなじ）に寄進したと伝わる足利時代の瓦、



あなたのまちの歴食を教えてください！

ご応募はコチラ

エントリーフォーム
http://reki-shoku.jp/entry/